

令和6年の

注目ポイントをチェック！

## 4月に神楽沢近隣公園がオープンします！

令和4年から工事が進められてきた神楽沢近隣公園が4月にオープンします。芝生広場やバスケットボールコート、長さ28メートルの大きな滑り台などの遊具が設置されます。また近隣には、JR東海駅や村立東海病院、総合福祉センター「絆」等の公共施設が集中するほか、新しい商業施設がオープンし、にぎわいが生まれています。親子で楽しめる公園となっています。親子で、皆さんぜひお越しください。



神楽沢近隣公園では、ネーミングライツパートナー（施設等命名権者）を公募しました。申し込みのあった候補者について、令和5年11月30日に開催された「ネーミングライツ審査委員会」において審査した結果、株式会社グルービーを優先交渉権者として決定しました。公園の愛称については、契約の締結後に公表する予定です。

東海村でのびのび遊べる新たな広場



▼整備状況公開中



## 子育て世帯への支援を強化します

### 第2子以降の保育料無償化

子育て世帯のうち、特に経済的負担の大きい多子世帯の負担軽減を目的として、令和6年4月から村独自で、0～2歳児を対象に第2子以降の保育料を無償化します。

### （仮称）緊急保育所の整備

子育て中の女性の就業率の上昇等による保育ニーズの高まりを受け、特に入所待ちの多い0～2歳児が認可保育施設へ入所するまでの受け皿として、「（仮称）東海村緊急保育所」を整備します。

移り変わる子育て世帯のニーズに応える



# 新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。すがすがしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、「新型コロナウイルス感染症」に係る制限が緩和され、さまざまなイベント等もほぼコロナ前の状況に戻すことができたのではないのでしょうか。できるものは躊躇せず「やる」という姿勢で、皆様が動き出してくれたことに改めて感謝申し上げます。

昨年の本村のトピックスとしては、駅東大通りで4年振りに開催された「東海まつり」イベントではないでしょうか。当日は、オープニング前から多くの方が会場に集まっていたので、村民の皆様もこの日を待ち望んでいたのだと実感しました。その他のイベントも多くの方にご来場いただき、改めて、イベントを通して皆さんが元気になり、一体感を醸成できたことに大きな喜びを感じました。今年は、右に掲げた施策等を推進してまいりますので、ご期待いただければと思います。

また、原子力政策につきましては、国や県の協力もあり、昨年末に「原子力災害に備えた東海村住民避難計画」を策定することができました。村民の皆様には、原子力災害が発生した際は、発災事業所によって初動・避難行動・避難先が異なることを充分にご理解いただけるよう、機会を捉えて分かりやすく周知していきたいと考えております。

さて現在、令和6年度に向けての施策を取りまとめているところですが、今年は、コロナ禍で停滞していた「まちづくり」に関する各種取り組みを積極的に展開しながら、東海村の魅力をさらにアピールできるよう尽力してまいりたいと考えております。

結びに、本年が、皆様にとって良き年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

東海村長  
山田 修



新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。令和6年の東海一部をご紹介します。

## 改革を経て 住民サービスの 向上へ



策定し、令和7年度から段階的に実施していく予定です。現在は、全庁オフィスの改革に先駆け、総合戦略部（政策推進課、地域戦略課）をモデルオフィスとして、事務スペースの狭小化や座席の固定化を改善するなど、「新しい働き方」の実証を進めます。

## 「新しい働き方」 への実現へ向けて

役場庁舎は現在の庁舎となつてから27年目を迎え、この間、社会情勢も大きく変化しています。これに対応した働き方が求められていることから、職員の働き方も転換し、行政の各分野を超えた連携などにより、質の高い行政サービスを提供し続けていく必要があります。そこで村では、庁舎利用者の利便性向上と職員の自律的で生産性の高い働き方を実現するため、令和6年度中に「東海村オフィス改革プラン」を



## いつでも 便利をかなえる デジタル化



全ての村民の方々がデジタル化の利便性を実感できるよう、地域での「スマホ講座」の開催や、役場庁舎での「スマホの相談窓口」など、スマートフォンを主としたデジタル活用の支援に加え、住民同士でスマホの使い方を学び合う地域の活動（本紙10・11ページ参照）も積極的に支援していきます。

## デジタル化の 推進

デジタル化による利便性向上のため、マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」の実現のほか、役場に行かなくても行政手続きができる「オンライン申請や問い合わせができる「チャットボット」の機能を充実させるなど、より便利な行政サービスの実現を目指します。

### デジタル・デバイドの解消

### スマートサービス推進事業